

# 「上手く渡れるようになりたいな」 という子どもの思いを大切にしています！

2026. 5. 11 やざき乳児保育園



体幹や平衡感覚を刺激する遊びを楽しんで欲しいという保育者の願いから、10センチ幅の平均台をジグザグに置いてみました。2歳前後の子どもにとって、幅の狭いところを進んでいくことはとても難しいことです。でも、『うまく渡れるようになりたい』という子どもの思いは強くあって、何度も何度も繰り返しチャレンジします。ジグザグになっているところが難しいポイントのようで横向きになったり両手でバランスをとったり・・・それぞれが色々な渡り方を試していました。



年下の子どもたちも刺激されてチャレンジしていますよ！



“何かが出来た・出来なかった”という目に見える結果だけに注目するのではなく、“子どもがどんなところにチャレンジし工夫しているのか？”を汲み取り、子どもの気持ちに寄り添う言葉をかけながら、共感をもって根気強く見守っていくことを大切にしています。